学校番号	3032B

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習（共通）	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	リンク数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C（ベクトル）　受験編 abc						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・演習形式の授業のため、予習と復習が必須である。
・難しそう、解けなさそうであっても、粘り強く考え、自ら思考し、試行錯誤することが重要である。
・１年間を通して、知識と思考の連続である。

2　学習の到達目標

・これまでの既習内容（数学ⅠA＋ⅡBC）に再度触れることで、基本的な概念などについての理解を深める。
・既習内容から発展問題に触れることで、数学的な表現力を身に付ける。
・数学的な活動を通して、事象の本質やほかの事象との関係を認識し、それらを活用する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・既習内容について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	・既習内容から標準問題に対し発展的に考察することができる。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり,粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返り、考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数学Ⅰ・A	1　数と式 2　集合と命題 3　2次関数 4　図形と計量 5　データの分析 6　場合の数と確率 7　図形の性質 8　数学と人間の活動	a:既習内容の基本的な原理や法則を理解している。 b:問題演習を行う中で、数学的な表現を用いて、的確に表現している。 c:既習内容から新しい発見や考察を深めたりし、評価・改善したりしている。	小テスト 提出物	小テスト 提出物 振り返りシート	提出物 振り返りシート
後期	数学Ⅱ・B・C(ベクトル)	9　式と証明 10　複素数と方程式 11　図形と方程式 12　三角関数 13　指数関数と対数関数 14　微分法と積分法 15　数列 16　統計的な推測 17　ベクトル	a:既習内容の基本的な原理や法則を理解している。 b:問題演習を行う中で、数学的な表現を用いて、的確に表現している。 c:既習内容から新しい発見や考察を深めたりし、評価・改善したりしている。	小テスト 提出物	小テスト 提出物 振り返りシート	提出物 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度